

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和 7年 6月 27日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市水ヶ江1丁目2番3-2号
団 体 名 NPO法人poco a bocca
代表者職・氏名 理事長 寺野幸子
電 話 番 号 0952-60-2152

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : NPO法人poco a bocca
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

人生100年時代の今、佐賀で暮らす人々が”こころ”も”からだ”も軽やかに、しなやかに、美しくあり、人生の様々なライフステージを元気に過ごしていくことができる佐賀県の実現を目指してサービスを提供していく。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

公的なサービスではカバーできていない”すき間”を埋め、様々な団体や個人と柔軟に連携することで対象となる人々へ新しい価値を提供し、社会課題の解決の一助となる。
多職種の専門家がチームを組んで、佐賀県主催の産前産後と父親支援のイベントに参加した。産前産後の家族の孤立を防ぎ、セルフケア力を高めるサポートを行うことが出来た。また、まだ社会で活躍できていない人が心身ともに元気になり、自己肯定感を高め、可能性のタネを育てることを目的に園芸活動に取り組んだ。全体を通して、公的なサービスではカバーできていない”すき間”を埋め、様々な団体や個人と柔軟に連携することで対象となる人々へ新しい価値を提供し、社会課題の解決に寄与することができた。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		2,836,549
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	2,036,549
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	2,009,400
	前年度控除額(県事務経費)還付分	27,149
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	800,000

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		1,536,549
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	1,317,516
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	219,033
	返礼品等の調達に係る費用	150,400
	返礼品等の送付に係る費用	16,453
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	52,180

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		1,300,000
-------------------------------------	--	------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.pocoabocco.jp/houkoku/>